

| | | |
|-------|---|------------|
| 日時・場所 | 平成30年6月4日（月） | 8時45分～ 庁議室 |
| 出席者 | 山仲市長、竹中政策調整部長、小山総務部長、田中市民部長（代理：長尾次長）、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、遠藤環境経済部長、吉川教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課） | |

1. 市長指示事項

- ・ パワハラやセクシュアルハラスメント等のハラスメントは許されることではないが、事象だけ捉えると特異に見えるが根底にあるのは、善悪というより考え方や文化の違い、信頼感の問題である。単なる個別事象と捉えない。一方からすると当たり前であっても、他方や社会から見ると当たり前ではないことがあるので気をつけてほしい。
- ・ 市民からの手紙や問合せの最後に「ご理解お願いします」と書いていることがある。問われたことに答えたり「やります」「やりません」と言えばいいのであって、理解する・しないは相手の自主的な問題。「理解ください」とは即ち「理解せよ」ということであり、これも極端に言うとハラスメントにあたる。判断は相手に委ね客観的事実を書けばいいだけである。理解できない場合には相手側は質問されると思うが、質問を封じることにもなる。「ご理解ください」は必要なこともあるが、基本的には要らないと思うので気をつけてほしい。
- ・ やすまる広場や消防フェア、出店者からは手ごたえがあった、来場者からもこれまでになく盛り上がっていると感想を聞いた。10年経って、市民が中心になってここまで成長しているのは好ましい。お互いに評価をしてもらいたい。
- ・ 今話題の幼児教育の無償化。無認可保育所まで補助対象という話になっている。無償化は悪くはないが、どういう保育や教育を無償化するのか、どういう中身についてを無償化するのかということが大事。無償化だけが走っており、市としては気をつけてほしい。無償化は、誰かには無償だが、誰かが負担している。今回は消費税の増税分なので消費者、つまり国民が負担している。消費税は逆累進であり、貧しい人の方が負担が重い。職員も常に、社会の動向をしっかりと踏まえてほしい。
- ・ 正規と非正規の賃金は同等という判決が2件出ている。注意しないといけないのが、入って3年と15年の者が同じ仕事をしているのはおかしいという論理が出てくることになり、年功序列の給与体系が崩れてくる。給与の未払いや過払いの訴訟が起こる可能性がある。社会のどこかをさわるとどこかが崩れてくる。社会全体が勇み足だって何かを変えていくと、他との整合性がとれなくなることがある。無償化、正規・非正規、ハラスメントどれもそうであり、地に足つけて着実に物事を進めてほしい。

2. 報告事項

① 野洲市施設整備、用地取得等に係る市負担について

[所管:政策調整部]

野洲市施設整備、用地取得に係る市負担額の状況についてまとめたので公表する。周行会関連、地域交流センター等整備用地取得、野洲駅前Dブロック用地取得に関しては、償還を終えている。びわこ学園関連は今年度で終了予定である。

利率の変更や補助の見直しの可能性があり、今後変更が生じる可能性がある。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- ・ 6/3（日）のやすまる広場の入場者数は図書館前のカウンターではのべ約5,900人であり、昨年度に比べて約1割増の入場があった。協力に対する御礼を含め報告する。（市民部）
- ・ 学校ICTの環境整備に関する入札の談合情報があり、プロポーザル審査会の中止を行った件について、マニュアルに基づき6社に事情聴取を行ったが、談合の事実は認められなかった。6/4の契約審査会への報告と、報道機関への情報提供を行い、入札手続きを再開する。審査会は6/6で調整中である（教育委員会）
- ・ 6/2（土）の市民病院に関する市民懇談会は約60名の参加があった。設計を変更するような意見はなかった。（政策調整部）
- ・ 滋賀県知事選挙の告示が6/7にあり、翌日から期日前投票を開始する。職員の協力をお願いする。（総務部）

5. 次回部長会議の予定

6月11日（月） 8時45分～ 庁議室